

派遣先所属 宮城県仙台土木事務所  
氏 名 鈴木 俊平 (すずき しゅんぺい)  
派遣期間 平成31年4月1日～令和2年3月31日

## 1 派遣業務の内容、現況

今年度より宮城県仙台土木事務所に派遣させていただき、これまでの諸先輩方と同様、一級河川名取川水系南貞山運河の復旧・復興に関する業務を行っています。南貞山運河は、貴重な土木遺産として位置付けられている運河郡の一つであり、築造400年を経た歴史ある公共施設です。しかし、震災時の津波により堤防や護岸が大きく被災し、引き波によって集められたがれきで埋没してしまいました。現在、従事している業務はこの南貞山運河の機能の復旧です。震災から約8年が経過し、本事業は宮城県が定める震災復興計画において、目標年次としている令和2年度までの完成を目指しています。

担当する具体的な業務内容は、南貞山運河を復旧するとともに、その治水機能を増強し、再度災害に対して粘り強く強靱な施設にするため、工事の積算・発注、また施工管理業務を行っています。工事規模の大きさや、私自身の現場経験の不足等により、日々苦勞することも多々ありますが、上司や同僚、また施工業者にアドバイス等をいただきながら業務を進行しています。現在、事業完了に向けたラストスパートの段階であり、残工区工事の積算・発注、また施工中の工事については適切な施工管理を行い、遅滞なく工事の進捗を図っています。

また、南貞山運河の復旧・復興に併せて、南貞山運河に架かる橋梁や樋門・樋管等について、関係機関と調整し、適宜、協定の締結を行っています。復興事業が完了した後も、宮城県を含めた各機関による適切な維持管理を実施し、良好な河川環境を保っていきたいと思います。

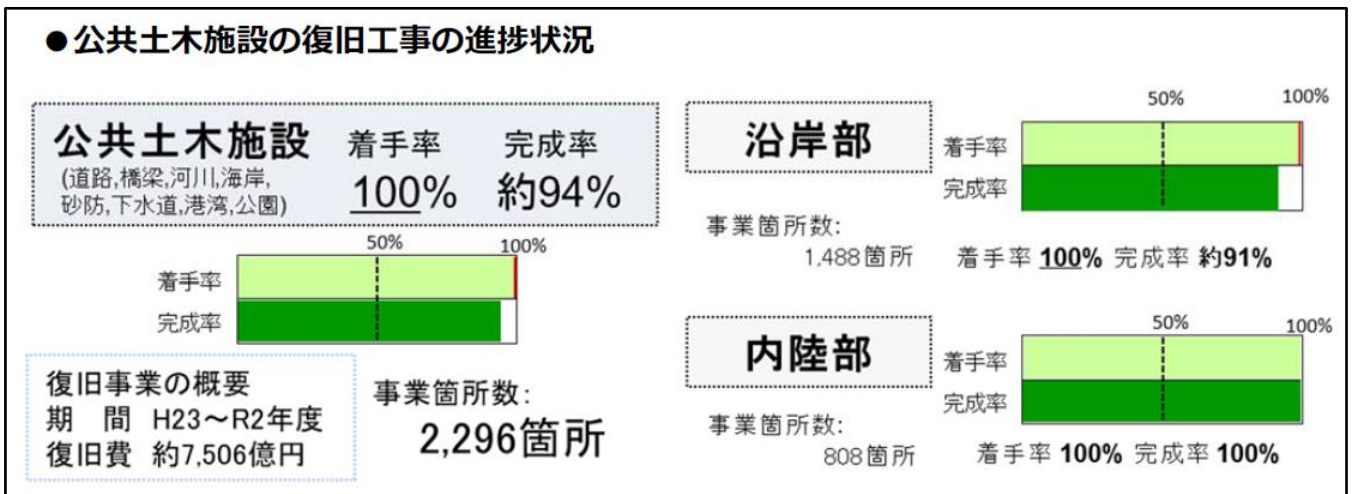
仙台土木事務所では、埼玉県以外にも他都道府県の応援職員が業務に従事しています。宮城県職員を含め、同世代の職員も多いことから、積極的にコミュニケーションを図り、厳しくも楽しく業務を行っています。

南貞山運河周辺の被災前後写真



## 2 被災地の復旧・復興の状況

下図は、令和元年度9月末時点の宮城県の公共土木施設における災害復旧事業の進捗率です。道路、橋梁、河川、海岸等、全てを含めた公共土木施設の被災箇所に対し、全県の着手率は100%、完成率は約94%となっています。また、内陸部では、すでに完成率100%となっているものの、沿岸部では約91%となっており、完了目標年次の令和2年度に向けたラストスパートの段階となっています。



## 3 被災地へ派遣となって感じたこと

現在、主に東日本大震災に関わる災害復旧事業に従事し、埼玉県では経験する機会が少ない大規模な河川工事を担当することで、日々多くのことを勉強させていただいています。土木技術者としての知識の向上はもちろん、公務員として業務へ取り組む姿勢や県民への対応等、改めて学ぶことも多いと感じています。また、この機会にできた宮城県職員や他都道府県の派遣職員との繋がりは、今後の公務員人生にとって、貴重な財産になると感じています。

最後に、残りの派遣期間も引き続き、少しでも宮城県の復興に力添えができるよう懸命に取り組んでいきたいと思っています。



(令和元年10月作成)